

# J A M 政策NEWS

【発行】J A M

【発行責任者】大山勝也

【編集】社会政策局

03-3451-2586

E-MAIL : [syakai@jam-union.or.jp](mailto:syakai@jam-union.or.jp)

## 連合がイラク戦争の即時停戦を求める声明を発表

いかなる国、いかなる理由でも大量破壊兵器の保有は許さない！

イラクへの武力攻撃が始まったことを受け、本日(3/24)連合は緊急三役会議を開催し、イラク戦争の即時停戦を求める声明を発表しました。その内容は次の通りです。

### イラク戦争の即時停戦を(声明)

日本労働組合総連合会

連合は、いかなる理由、状況であれ、戦争には反対するとの基本的立場から、平和的解決に向け諸々の行動を積み上げてきた。しかしながら、米英軍のイラクへの武力攻撃によりイラク戦争が開始されたことは、残念であり、極めて遺憾である。

連合は、被爆国民として、核兵器など大量破壊兵器はいかなる国であろうと、いかなる理由であろうとその保有を許さない、との考え方に立ち、これまで以下のとおり対応してきた。

イラク問題は、あくまでも、イラク政府自身が国連安保理決議1441に従い大量破壊兵器の完全廃棄と国際的信頼の回復をすべきと要請してきた。

アメリカ・イギリス両国政府には、武力行使によらない平和的解決を求めてきた。

日本政府に対しては、平和的解決を求める多くの国民の声に耳を傾け、早急に、他国との協力のもとでの平和的解決への努力と国民への情報開示を求めてきた。

さらに、連合は、平和的解決に向け、国際自由労連を中心として各国労働運動と連携をしてきた。

連合は、あくまでも平和的解決を求めるものであり、イラク戦争の即時停戦を実現させるために次の通り決議する。

国連は、早急に停戦とこの問題の平和的解決を図るため、あらゆる手段を講ずるべきである。あわせて、強力なイニシアティブを発揮し、世界平和と国際秩序の再構築を図るべきである。

アメリカ、イギリスなど、攻撃に参加している各国政府は即刻、戦闘を停止すること。

イラク政府は、早急に国連決議1441に全面的に協力し、大量破壊兵器を廃棄する声明を出し、自国民の犠牲がこれ以上拡大しないように事態の收拾を図るべきである。

日本政府は、日本国憲法を遵守し、国連の重要な一員として平和的解決を求める各国政府と連携し、速やかな停戦に向けた外交努力を行い、事態を收拾すべきである。連合は、そのため、協力関係にある野党各党とも協力し、政府に対し働きかけていく。

連合は、国連を中心として国際平和秩序の再構築、イラクにおける一般市民の生命・人権の保護、地球の環境を守るため、国際自由労連・各国労働運動との連携を密にし、平和的解決の努力を関係機関に求めるとともに、主体性をもって行動していく。

以上

### 連合「平和のための3.18緊急集会」開催

米国がイラクに対する最後通告を行った18日、連合は原水禁、核禁会議と共催で「平和のための3.18緊急集会」を東京・明治公園で開催。雨の中、6千人の仲間が結集しました。JAMからは、東京近郊の地方JAMおよび本部から約120人が参加。集会後、代々木公園まで「イラクの大量破壊兵器完全廃棄」「国連主導による平和的解決」などを訴えながら、デモ行進を行いました。

集会で笹森会長は、「連合は、国連決議なし武力行使は断じて認めないことを確認し、連合の仲間の総意で平和裡に解決を求めてきた。昨年11月に採択された安保理の1441決議は、イラクに対する最後のチャンスとして即時無条件、積極的な協力を命じたもの。イラクが誠実かつ迅速に国際社会の義務を果たしてさえいれば、安保理の分裂、武力行使の危機は回避できたはずだと思う」と述べました。